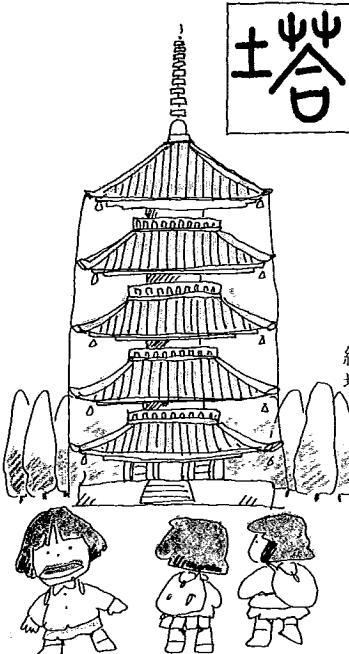


塔

おん
トウ

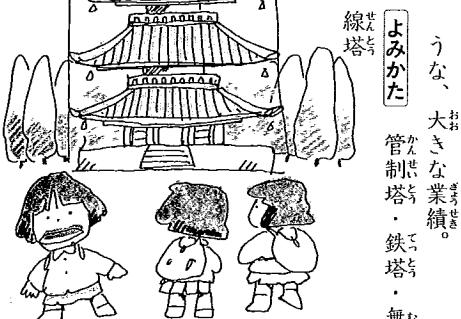
12画
ナ
一
フ
塔
塔
塔
塔

「右上へはらう」



なりたち インドの梵語(ほんご)を音訳した卒塔婆(ばと)の略語。卒塔婆は仏骨を納めた箱の上に土や石や木を高く積み上げたもの。高い建物の屋根の上に置いたが、やがて高い建物そのものの称になつた。

いみとじゅく
▼高くそびえたつ建物。
石塔(せきとう)…墓の上に立てる石碑(せきひ)ある。



いみとじゅく

搭

おん
トウ

12画
ナ
一
フ
搭
搭
搭
搭

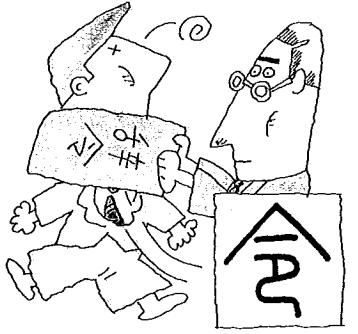
「はねる」



なりたち 苓は一枚の同じ形をした物がぴったり合つたさやから小豆を取り出すこと。今は、乗り物に乗ることをやにできる小豆のこと。搭はさやから小豆を取り出すこと。今は、乗り物に乗ることをいう。

いみとじゅく
▼乗る。
搭載(だき)…船・車・飛行機などに貨物などをのせる事。
搭載機(だきき)…航空母艦にのせてある飛行機。
搭乗(だくじゆう)…船や飛行機に乗り込むこと。
例 搭乗員

いみとじゅく



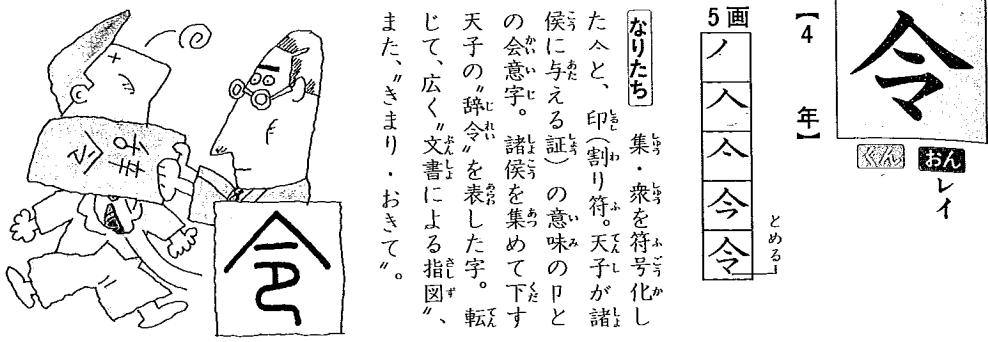
5画
ノ
入
人
今
令
令
レイ

【年】

なりたち 集(しゆ)衆(しゆ)を符号化(ふごうかげ)し印(いん)割(わ)り符(ふ)。天子(てんし)が諸侯(しょこう)に与え(よ)る証(あて)の意味(いみ)の印(いん)と会意字(かいぎじ)。諸侯(しょこう)を集(しゆ)めて下す天子(てんし)の「詔(じれい)」を表(あらわ)した字(じ)。転じて、広く文書(ぶしょ)による指図(しじ)、「さしひ」といふ。また、「きまり・おきて」。

▼さしひ。いいつけ。おきて。
令嬢(れいじょう)…高い。
よみかた 相手(あたひ)の家族(かぞく)を尊敬(そんけい)していう言葉(ごんば)。
法令(ほんがい)…法律(ほうりつ)と命令(めいれい)の総称(そうしめい)。
政令(せいがい)…内閣(ないかく)の出す命令(めいれい)。
条令(じょうがい)…箇条書き(かじょうかき)にした法令(ほんがい)。
命令(めいれい)…よい評判(ひょうばん)。

用例 令名(めいめい)が

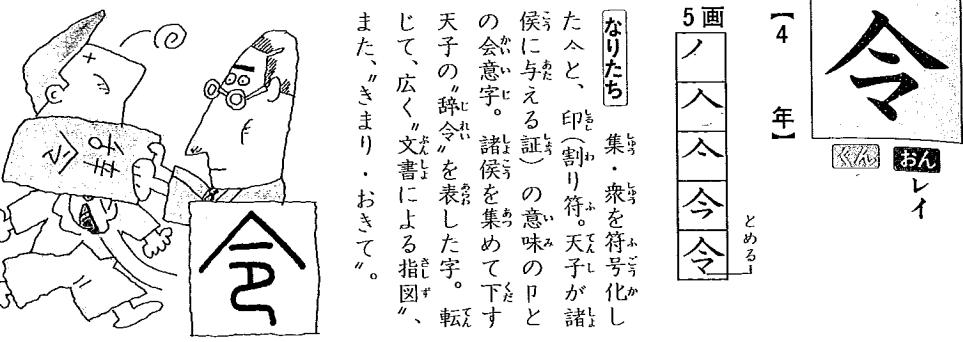
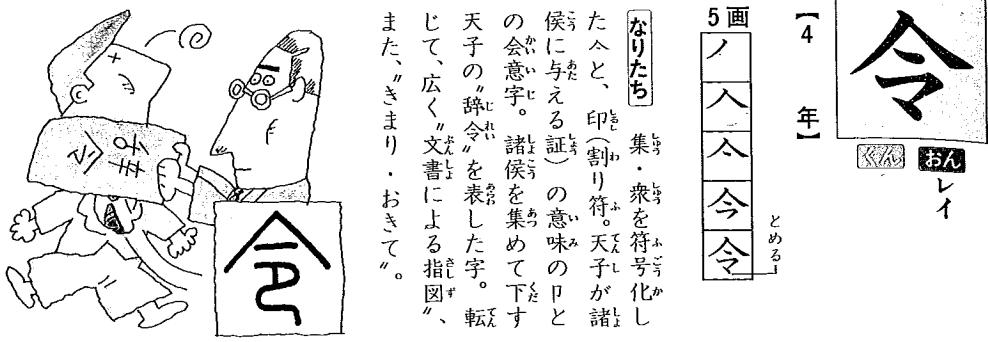


7画
ノ
ソ
ハ
火
冷
冷
レイ

【年】

なりたち 令は厳しくつめたつめたい・ひかる。ひやす・ひやかす・さめる。さます。 いものと考えられている。その令と氷の意味のとの会意字。形声字。つめたい・ひややか』という意味を表した字。

▼つめたい。ひややか。ひえ
冷遇(れいむ)…冷淡(れいだん)な態度(たいど)であしらうこと。
冷然(れいぜん)…ひややかで情けに欠けている様子。用例 冷然たる態度(たいど)。
冷酷(れいかく)…悪いやりがなく、むごいこと。用例 冷酷な人(ひと)。
冷感(れいがん)…ひややかで情けに欠けている様子。用例 冷感(れいがん)。



よみかた 静(せい)・寒冷(れいがん)・底(そこ)冷(ひ)え・湯(ゆ)冷(ひ)め

